

平成 22 年 3 月 29 日
 井関農機株式会社

「疎植営農指導員制度」設置について

井関グループは、低コスト農業実現の一環として、これまで「疎植栽培」を移植機（ハード）と栽培技術（ソフト）の両面からその普及に努めてまいりました。

「疎植栽培」とは、稲作において坪当たりの植え付け株数を減らし育てる栽培方法ですが、当社グループの栽培技術においては、慣行栽培の約半分の植え付け株数で、同等の収穫量を得ることができます。

当社は創立 85 周年を機に「夢ある農業応援団！ISEKI」として、この栽培技術の更なる普及を図り、より多くの農家の方々に低コスト農業を提案できる体制「疎植営農指導員制度」を設置することと致しました。

1. 「疎植営農指導員」とは

当社並びにグループ各販売会社におけるセールス担当者において、疎植栽培技術の習得レベルに応じてクラス構成され、疎植栽培の基本技術を習得し、疎植栽培の提案並びに農家の方と一緒に生育状況の管理・記録を録る「**疎植パートナー**」と、栽培に関するより深い知識を持ち、記録から科学的な根拠に基づき生育状況の良否を判断し栽培のアドバイスを行う「**疎植アドバイザー**」から成ります。

尚、本資格は井関農機の認定制度（実技・筆記試験）に則って厳正に審査いたします。

2. 「疎植営農指導員」の役割

区分		疎植パートナー	疎植アドバイザー
I. 土作り・育苗			・土壌診断および育苗アドバイス
II. 肥料・農薬	肥料	・成分計算（記録）	・施肥量の決定 ・タイミング等のアドバイス
	農薬		・散布アドバイス
III. 栽培管理	水管理	・管理時期の把握 水位測定（記録）	・生育ステージ別水位アドバイス
	生育調査	・生育状況の測定 （記録）	・生育状況の調査
	生育診断		・生育状況の判断 ・生育アドバイス
IV. データ分析	品質確保		・データ分析
	収量調査		・アドバイス
	品質特性		・次年度へ向けての目標設定

注) アドバイスとは指導機関から発表される栽培情報を考慮した上で、疎植栽培に適した情報提供を行うものです。

3. 制度の開始時期

平成 22 年 4 月 1 日より開始

4. 認定人員計画

	H22/4 (立上時)	H23/3	H25/3
疎植パートナー	50 名	300 名	1,000 名
疎植アドバイザー	20 名	30 名	60 名

【疎植営農指導員制度を設置するグループ販売会社】

(株)キセキ東北、(株)キセキ関東、(株)キセキ信越、(株)キセキ北陸、(株)キセキ東海、
(株)キセキ関西、(株)キセキ中国、(株)キセキ四国、(株)キセキ九州
群馬キセキ販売(株)、(株)石川商会、柳田キセキ販売(株)、三重キセキ販売(株)、
奈良キセキ販売(株)、(株)西岡商会

5. 認定カード

疎植営農指導員は認定の証として、下記カードを携帯しております。



*実際のカードには認定者の顔写真を貼付しております。

6. その他

平成 22 年 4 月より、全国テレビ朝日系列において、「疎植営農指導員」が登場する CM 放送を開始いたします。



- 「疎植パートナー・アドバイザー」と一緒に疎植栽培に挑戦
- 苗箱が半分に、コスト・時間・労力の大幅削減で「得しちゃった!」

[本件に関するお問い合わせ先] 営業推進部 03-5604-7580
[リリースに関するお問い合わせ] I R・広報室 03-5604-7709

以上